

ファッションドール「バービー」が “未来に向かって自分らしく進む” 女性を称えるアワードを新設

バービーのブランドメッセージ“You Can Be Anything”（あなたは何にだってなれる）を体現し、自らのスタイルを確立し、次世代のロールモデルとなる輝く女性が集結！

『Barbie Icons -Shaping our World-』

俳優の**渋谷凖咲**さん、実業家の**笹川友里**さん、

ダンサー・振付師の**Ruu**さんが**受賞**

渋谷さん「唯一無二の存在になるには、自分のコンプレックスも愛し、自分しか持っていない魅力や素材を最大限に磨き続けることが大切だと実感しています！」



左から)石井社長、木島理事長、清川さん、渋谷さん、笹川さん、Ruuさん



渋谷凖咲さん

世界大手の玩具メーカー、米国マテル社の日本法人であるマテル・インターナショナル株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石井恵三)は、「自分の個性や夢を大切にしながら、美しくチャレンジし続ける」“現代のリアルバービー”を称えるアワード『Barbie Icons -Shaping our World-』を実践女子大学(東京都渋谷区)にて2026年3月16日(月)にて開催しました。初年度となる本年は、3名の受賞者を選出させていただき、特別仕様に設えたマテル社80周年記念のバービーシグネチャーコレクタブルドールを各受賞者に授与いたしました。

アワード授与の一人目は、俳優の渋谷凖咲さんに。アイドルを卒業後 新たなステージへ主体的に挑戦し、変化を恐れず可能性を広げ続ける姿がまさにバービーの価値観“You Can Be Anything”（あなたは何にだってなれる）を体現していることから選出させていただきました。二人目には、NewMe株式会社COOの笹川友里さんに授与。自身がキャリアと家庭の両立に悩み、新たな生き方に挑戦してきた経験から『女性の転職や生き方について共に考える場所を』と起業し、多くの女性に向き合っていることが大きな評価となりました。三人目となるダンサーで振付師のRuuさんは、若干10代で日本一の称号を手にし、その後も振付師として既存のジャンルに縛られない独創的な世界観を確立し、日本のみならず世界のダンスシーンに大きな影響を与え続けていることが選考理由となります。

また、プレゼンターには「女性が社会を変える、世界を変える」という建学の精神とバービーの価値観に共感し、今回の会場にもなった実践女子学園の木島葉子理事長と、コンプレックスを美しさに変換していく独自の視点で多くの女性に希望を与える作品を生み出している美術家の清川あさみさんが登壇。マテルインターナショナル株式会社の石井社長からバービードールを授与された渋谷さんは「今すごく感謝しています。私は挑戦、変化、そして自分自身の可能性を信じ、どんな時にも希望を忘れずに、心をときめかせながら生きることを、自分の中で、コツコツと大切に続けてきました。今回そのような理由で選んでいただけたことを本当に心から幸せに思います」と受賞の喜びをコメントしました。

続け、「きっと、これからも沢山大変なこともあると思うんですけど、バービーが掲げている『“You Can Be Anything” あなたは何者にでもなれる』、という言葉信じ、未来に心ときめかせながら歩んでいきたいと思います！」と笑顔で語りました。

笹川さんは「私は、自分のキャリアは毎回自分で決めて進んだ、つかみ取った、ということは全く無く、声をかけてくださった方が常に近くにいる、そんな出会いが積み重なって、今日この可愛いバービーをいただけたと思うので、出会いに感謝しております。」とコメントしました。

Ruuさんは「最初はバービーとピンクとダンスが大好きな女の子だったんですけど、大好きなダンスを続け、私自身も誰もやったことがないことをやってみたいという気持ちや、何回負けても挑戦する気持ちを大切に、ここまでやってまいりました。自分が切り開いてきた道をこれから未来につなげていけたらいいなと思います」と明るくコメントしました。

アワードプレゼンターの木島理事長からは、「皆様ご活躍されている領域は本当にそれぞれではありますが、共通しているのは今の場所に留まるのではなく、どんどん新しいことにチャレンジし続けていることだと思います。コツコツと続けていることによって、今日の姿になられているのかなと思いました。」と、清川さんからは、「これからもそれぞれの個性を活かしたスタイルで色々な人を引っ張っていただきたいと思いますし、女性みんなのお手本として活躍していただけたら私も嬉しいです。」とコメントをいただきました。

【 Barbie Icons -Shaping our World- とは】

1959年3月9日に白黒のゼブラ柄の水着を纏った小さな人形としてデビューしたバービーは、「女の子が遊びながら自分の将来像を思い描き、可能性を広げていけるように」という願いのもと、ルース・ハンドラー(マテル社の共同創始者)によって誕生しました。以来65年以上、バービーは宇宙飛行士になり、医師になり、アスリートになり、エンジニアなどのあらゆる職業、そして、性別、人種、体型など現代の多様性”ダイバーシティ”を表現してきました。バービーが発信するメッセージは、玩具の枠を超えて、ファッションに、カルチャーに、ライフスタイルに溶け込み、子どもたちからZ世代に至るまで、あらゆる世代が「自分らしく生きる」ことを後押しするブランドへと進化しています。

『Barbie Icons -Shaping our World-』はバービーの誕生月である3月に、「なりたい自分を信じ続け、可能性を広げる」というBarbieのブランドメッセージ“You Can Be Anything” (あなたは何にだってなれる)を体現する、次世代のロールモデルとなる輝く女性に、ブランドとして称賛のスポットライトを当てるアワードです。いまの自分を「これでいい」と認められること。その感覚こそが、何よりも自由で、美しい、そんな想いから生まれました。本アワードのサブタイトルである「-Shaping our World-」には、自らの可能性を信じて一歩踏み出した女性たちの輝きが、結果として周囲を照らし、この世界をより豊かで多様な場所へと形作っていく(Shaping)という意味が込められています。

「なりたい自分」を諦めず、自らのスタイルを確立し、主体的に行動する。そのプロセスで放たれるエネルギーが、他の女性たちに勇気を与え、社会の可能性を押し広げていく。この「個人の意志」と「社会へのインパクト」の循環こそが、今回の選考基準の核となっています。

◆アワード選考基準:

- ①ご自身主体で行動し、可能性を広げてきた方か
- ②ご自身のスタイルを確立している方か
- ③他の女性たちに影響を与え、勇気つけている方か

【開催概要】

- 正式名称: 『Barbie Icons -Shaping our World-』
- 日時: 2026年3月16日(月) 12:00~ 12:40
- 会場: 実践女子大学 渋谷キャンパス (東京都渋谷区東1丁目1-49)
- 内容: 「なりたい自分を信じ続け、可能性を広げる」というBarbieのブランドメッセージ“You Can Be Anything” (あなたは何にだってなれる)を体現する、次世代のロールモデルとなる輝く女性に、ブランドとして称賛のスポットライトを当てるアワードを授与
- 受賞者: 渋谷凧咲さん(俳優)、笹川友里さん(NewMe株式会社CCO)、Ruuさん(ダンサー、振付師)
- プレゼンター: 木島葉子さん(実践女子学園 理事長)、清川あさみさん(美術家)

■受賞者の様子



渋谷凧咲さん



笹川友里さん



Ruuさん

【受賞者について】

■渋谷凧咲さん選考理由:

アイドル卒業後、女優という新たなステージへ主体的に挑戦し、変化を恐れず可能性を広げ続ける姿は、まさに"You Can Be Anything" (あなたは何にだってなれる) の体現です。彼女の自然体でありながら芯の強い生き方は、多くの女性に「自分らしく挑戦すること」への勇気を与えていること、独自の言語センスと自己プロデュース力で「渋谷凧咲」という唯一無二のスタイルを確立していることから選出させていただきました。

■受賞コメント:

今、とても感謝しております。

選出理由が自分が人生の中で大切にしていることと同じで、「挑戦・変化」、そして「自分自身の可能性を信じ、どんな時も希望を忘れずに、心をときめかせながら生きていく」ということを、自分の中だけでコツコツと大切にしてきました。今回このような理由で選出いただけたことを、心から幸せに思います。そして、このような機会をいただけたことで、「そのままでもいいんだよ」と背中を押していただけたような、そんな気持ちです。これからきっと、人生の中でたくさん大変なことがあると思います。でも、バービーが掲げている「You Can Be Anything あなたは何にだってなれる」という言葉を、心の底から信じ続ければ、きっと思わぬ未来が待っているのではないかと、私も心から信じています。その気持ちを大切にしながら、未来に心をときめかせて、これからも過ごしていきたいと思います。本日は、こんなに素敵なバービー人形とともに賞をいただき、本当にありがとうございました。

■女性に向けてのメッセージ

私の女性として将来の夢は、「少女のような大人の人になる」ということです。それは、どんな時も、どんなことに対しても、無邪気に、軽やかに、そして柔軟な心で向き合い続けることではないかなと思っています。今は、どうしても人と比べてしまう時代だと思います。私自身もこの仕事を始めてから、本当に嫌というほどその気持ちを痛感してきました。ですが、私が大切にしていることは、おじいちゃんから教えてもらった、「足るを知る」という言葉です。ないものばかりに目を向けるのではなく、あるものに感謝することです。きっと唯一無二になるためには、自分のコンプレックスも愛し、そして他の誰も持っていない、自分だけの魅力や、素材を最大限に磨き続けることが、大切なんだと実感をしています。「美しさとは、人ごとに内面からあふれ出てくるものだと思います。私自身も、何よりもまずは心を磨いて、すると瞳が輝いて、そして笑顔があふれて、やっとなにぬくもりを届けられると思うので、そんな気持ちを大切に、これからも頑張っていきたいと思います。なかなかこういう風に自分が、今まで自分自身の心と向き合ってきたお話をさせていただく場がなかったので、貴重な機会をいただきお話ができたことを、心から感謝しています。本日は本当にありがとうございました。

笹川友里さん選考理由:

制作スタッフからアナウンサー、そして実業家・モデルへと、従来の「女性アナウンサー像」という固定観念を軽やかに飛び越え、自らの手でキャリアを切り拓いてこられました。自身のライフステージの変化をポジティブに捉え、多角的な視点でビジネスを展開する姿は、現代の女性たちに「ロールモデルは自分で作れる」という新たな選択肢を示している姿に共感。

■受賞コメント:

改めてとても嬉しいお言葉をいただき感謝しています。自分のキャリアを振り返るとご紹介いただいた通り、最初は制作ADとしてカンペをめくったり、局内を走り回ったりとテレビ局に勤めておりました。人事異動でアナウンサーになり、今は会社を経営していますが、毎回自分で決めて進んだ、掴み取ったということは全くなく、「これやってみたら?」とか「こんなのでできるんじゃない?」という声をかけてくださった方が常に周りにいて、そんな出会いが重なり、今日こんな可愛いバービーをいただけた出会いに感謝しております。自分が見つけた会社ですが、仕事と向き合う女性に向けたサービスを展開しております。起業前の仕事頑張りたいという100人ほどの女性と話していると、ロールモデルがいないんです。自分の周りでごうなりたいたい先輩がなかなかいない、という“ロールモデル不在”問題に当たり、バービーはロールモデル、何者にでもなれるということテーマにされているということとても親和性を感じました。自分はなかなか誰かのロールモデルになれている感じはしないのですが、自分なりに一生懸命積み重ねていくと、何かその先に自分が腑に落ちる瞬間があるかと思っていますので、コツコツ生きています。バービー人形のメッセージに勇気付けられながら、これからも自分なりに邁進しようと思いますのでよろしくお願い致します。

■女性に向けてのコメント

女性ってつい、完全にできる状態にならないと「できる」って言わず、完璧を求めてしまう動物上の性質があるという本を読んだことがあります。私自身、特に20代の時は認められなきゃとか、これくらいできるようにならなきゃとか、自分をがんじがらめにしてゴールを設定し、20代後半はしんどい経験をしたと思っていました。今上の子が6歳、下の子が2歳の35歳になって、歳を重ねて良いことがたくさんあり、人を頼ることができるようになったり、「できない」と言えるようになったり、完璧じゃなくも良いと思えるようになり、女性ってすごく良い意味で“変化していける生き物”だと常に思っています。今、失敗したり苦しんだりぐるぐるしている最中にいらっしゃる方も、きっと、ちょっとずつ良くなっていくし、変化を恐れずにいろんなことを頑張っていくと、ちょっとした光が見えてくるんじゃないかと思っています。一緒に頑張りましょう。

Ruuさん選考理由:

10代で日本一の称号を手にしその後も振付師として日本のみならず世界のダンスシーンに挑戦、既存のジャンルに縛られない独創的な世界観(Ruuスタイル)を確立し、情熱を持って高みを目指し続けるストイックなその姿勢は、次世代のパフォーマーたちに向け大きな影響を与え続けています。夢を信じ抜く力が世界を変えることを証明している姿にリスペクトを持って選出しました。

■受賞コメント:

私は福島県福島市で生まれ、2歳のころからダンスを始めました。最初はバービーやピンク、そしてダンスが大好きな女の子でした。中学生になるにつれて、さまざまな大会やコンテストに出場するようになり、大好きなダンスだからこそ負けたくないという気持ちや、色々な賞を取りたいという思いが強くなり、誰もやったことがないことに挑戦してみたいという気持ちや、何回負けても挑戦し続ける気持ちを大切にしながらここまでやってきました。そこで見えた景色は、自分が好きなものを買いたからこそ見えた景色だと思っています。その景色を、今度は未来の子どもたちにも見せたいという思いから、昨年「ViVid」というキッズダンススタジオを東京にオープンしました。自分がこうして切り開いてきた道を、これから未来につなげていけたらいいなと思っています。また、お二人が「コツコツ続けてきた」とおっしゃっていましたが、私自身も本当にコツコツ続けてきたなと思っています。決して派手に大きな結果を出し続けてきたわけではなく、小さな積み重ねで一段ずつ階段を登ってきた、そんな人生だったと感じています。これからもコツコツと、しっかり着実に登り続けていきたいですし、皆さんにパワーを与えられる存在になれたら嬉しいです。今日は素敵な賞をいただき、本当にありがとうございました。

■女性に向けてのコメント

“You Can Be Anything”（あなたは何にだってなれる）」、私は“どこに住んでいても自分の思いがあれば何にでもなれる”ということを信じています。若い時に東京に出てきたかったのですが、中々東京に出て来る機会がなくて、でもどうしても自分という存在をみんなに知ってもらいたいと思い、結果を残すことに注力してやってきました。これからも、その姿をずっと見せ続けたいと思います。また、バービーにはそれぞれ個性があると思いますが、自分の個性を探すことで、自分が強くなれると思うので、子どもたちの育成の際にもその子の良さや個性を引き出せる存在になれたらいいなと思います。沢山の人を幸せにできるかはわからないけど、本当に身近な子から幸せやエネルギーを与えていけたらいいなと思っております。これからも挑戦をやめずに個性を磨いて頑張っていこうと思います。本日はありがとうございました。

【プレゼンターコメント】

実践女子学園 木島葉子理事長

この度は、おめでとうございます。皆様ご活躍されている領域はそれぞれでございますけども、やはり共通しているのは今の場所にとどまるのではなく、どんどん新しいことにチャレンジし続けている、そしてそれを積み重ねられているということで、今日の姿になられているのかなという風に思いました。渋谷さんは俳優、タレントとして非常にご活躍されていますし、笹川さんもアナウンサーから実業家になられ、素晴らしいと思いますし、Ruuさんは世界でダンス、振り付けで多くの方に影響を与えてくれているそんなことを改めて感じました。今後も活躍する姿を見せ続け、多くの人の背中を押していただける、まさにバービーのようにそんな存在であり続けていただければなと思いました。

美術家 清川あさみさん

この度は受賞おめでとうございます。個人的にもすごく注目していたお三方が受賞され、私的にもお会いするのがすごく楽しみにしていました。これからもそれぞれの個性を活かしたスタイルでいろんな人を引っ張っていただきたいですし、女性みんなのお手本として活躍していただけたら嬉しいなと思っております。

バービー(Barbie™)について

2024年にデビュー65周年を迎えた、世界で最も有名なファッションドール「バービー」。その姿は時代を超えて人々に勇気を与え、さまざまな世代のファンに物語のインスピレーションを届けてきました。バービーは、心の中にある子どものような純粋で明るい気持ち呼び起こし、あらゆる年代の人々と深くつながり続けています。おもちゃ箱を飛び出して、今や私たちの心の中にしっかりと根づいている存在です。「女の子の無限の可能性を引き出すドール」というアイデアから誕生したバービーは、単なるドールの枠を超え、人生をもっと自由に、もっと楽しく生きるためのムーブメントへと進化を遂げました。

公式サイト : <http://mattel.co.jp/toys/barbie/>
ロールモデルインタビューサイト : http://mattel.co.jp/barbie60th_interview/
Instagram【公式】 : https://www.instagram.com/barbie_japan_official/
Instagram バービースタイル【公式】 : <https://www.instagram.com/barbiestyle/>
Instagram バービースタイル【日本公式】 : <https://www.instagram.com/barbiestyle.jp/?hl=ja>
YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UC9pk4a285bymtQAigvGci8w>
X : https://twitter.com/barbiejp_cp
Facebook : <https://www.facebook.com/BarbieJapanOfficial/>

マテル社について

マテル(Mattel)グループは、玩具およびファミリー向け製品のデザイン、製造、マーケティングにおける世界的リーディング企業です。マテル社のベストセラー・ブランドとして、史上最も有名なファッションドールバービー(Barbie®)のほか、ホットウィール(Hot Wheels®)、きかんしゃトーマス(Thomas & Friends®)、フィッシャープライス(Fisher-Price®)、メガブロック(MEGA® BLOKS)に加え、様々なエンターテイメントから着想を得た玩具ラインがあります。マテル社は、2015年に『Ethisphere Magazine』の「World's Most Ethical Companies(世界で最も倫理的な企業)」に選ばれ、2014年に『Corporate Responsibility Magazine』の「100 Best Corporate Citizens」で第5位に選ばれています。全世界の事業を統括する本社をカリフォルニア州エルセグンドに置くマテル・グループは、150以上の国で製品を販売しています。

公式サイト : <http://www.mattel.co.jp/>